

2025年11月27日  
株式会社日本政策投資銀行

## 国立大学法人香川大学及び国立大学法人東京藝術大学と 三者連携協定を締結

株式会社日本政策投資銀行（以下「DBJ」という。）は、国立大学法人香川大学（以下「香川大学」という。）及び国立大学法人東京藝術大学（以下「東京藝大」という。）と、三者連携協定を締結しました。

香川大学は、「共創の場形成支援プログラム（COI-NEXT）」（注）において、藻場造成による、豊かな瀬戸内海の創生とブルーカーボン創出を通じたネイチャーポジティブ社会の実現に向けた取り組みを推進しています。

（注）国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）が推進する産学連携プログラム。

東京藝大は、「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）」を通じて、アートと科学技術による『心の豊かさ』を根幹としたイノベーション創出と地域に根差した課題解決の広域展開を目指しております。

本連携協定は、香川大学、東京藝大の両大学と金融機関による「学×学×金」の連携により、藻場再生プロジェクトの事業化を促進し、豊かで持続可能な海の創生を加速させることを目的としています。

三者は、香川大学の科学による事象を見える化する力、東京藝大のアートによる本質を見える化する力、DBJの金融による価値を見える化する力を組み合わせることにより、同事業を通じ、カーボンニュートラル・ネイチャーポジティブ社会の実現を目指します。

主な連携の狙いは以下の通りです。

藻場造成構造物の技術力を活かし、海の基礎となる藻場を創生するとともに、経済性以外の価値評価を実施する。更に、本事業を通じた持続可能な「海」・「海業」の創生のための仕組みづくりを検討する。

「アート」の力によって、普段は見えていない磯焼け等による海の現状や、海が再生する様子を見える化。広範に社会からの海への関心を惹きつけることで、新たな価値を創出し、事業の更なる高度化を実現する。

学×学×金の連携により、大学の新事業創出を通じて、経営力の強化を図る。





締結式の様子

(左から)香川大学 末永慶寛副学長、香川大学 上田夏生学長、DBJ 常務執行役員 原田文代、  
東京藝術大学 日比野克彦学長、香川大学 笥善行 イノベーションデザイン研究所長

以上